

大崎上島

広報 osakikamijima

No.33
2005
平成17 12



おだやか
静かた深
すすむ心
冬青空に
届くまで



農の楽しさを、 若い人に伝えたい

「農への思いを書くにあたって、自分史を省みることになりました。みかん景気に沸くころに農業を始め、いくらもたないうちに大暴落。多くが農業を離れていくなかで、私はやめるものかという一念でがんばってきました。が、折々で周りのいろいろな人にお世話になって私の現在があるのだという事に思い至り、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。それが、このたび農業記録賞にチャレンジした一番の収穫です。農業は自然と向き合う厳しい仕事ではありますが、楽しいこともたくさんあります。記帳をもとに経営や作業を計画的にやれば、収益をあげられるし、農業が楽しみになってきます。私はパソコンにデータを積んであるので、いつでも経営状況を数字で示すことができます。後継者であれ初心者であれ、若い人こそ農業をやってほしい。この島で農業者の自立を可能にする。そのために行政や関係機関と一緒に基盤整備をし、私の農業者としての経験や技術を伝え、できる限りの支援をしていきたい。それが今の私の大きな夢です。21世紀は農の時代、農地が消えてしまったらこの島はおしまいじゃありませんか」松岡光志さん、指導農業者。趣味は花づくりと音楽。妻と2人暮らし。

農と食は、私たちのいのちと健康、暮らしを支えています。農とかかわりながらどう生きているか、農への思いをつづった松岡光志さん（農業・原田区）の作品「『農へ夢とロマンを求めて40数年』が2005年毎日農業記録賞一般部門の最優秀賞6編のうちの1つに選ばれました。松岡さんは、みかんが暴落したどん底から創意と努力で安定経営を実現、いち早くパソコンを導入して経営管理・農業管理に活かしています。昨年は中原伸吾さん（岩白区）が受賞、大崎上島町から2年連続の受賞ということになりました。広島県が連続受賞するのも珍しいことです。

「農への思い」、 最優秀賞

Contents・目次

農の楽しさを若い人に伝えたい……	2
大崎上島町文化祭……	3
教育フェスティバルを終えて……	5
シリーズ海景色の映えるまちへ……	6
ともに暮らす 障害者週間他……	7
人権の視点……	8
ハイスクールレポート……	9
鳥羽からのメッセージ……	10
消費生活情報……	11
島のニュース……	12
ヘルシー愛ランド（健康）……	14
お知らせのページ……	16
季語に親しむ……	18

■まちの人口と世帯数 （2005年10月末現在）

人口 9,471人
男 4,404人
女 5,067人
世帯数 4,518世帯



■今月の表紙



「アイデア対決高専ロボコン2005中国地区大会」で、広島商船高専 A チームが優勝しました。今大会の課題は「ロボットによる障害物リレー」。同校から出場した2チームは、1回戦から圧倒的な強さで勝ち上がりました。「同校決戦も優勝も初めて。うれしいです」と指導教員の久間英樹さん（電子制御工学科）。優勝した A チームは全国大会（12月4日、東京両国）に出場します。

私流に「私」を表現した。 元氣島 文化の花咲く町づくり



②



③



④



①

①東野民謡教室②ゴールドオレンジ・夕月会（大正琴）③藤原郁也さん（ギター）④一艶玉さん（落語）⑤ひまわり会（絵本よみかたり）⑥アートフラワー⑦木江中学校生徒作品⑧ルンビニ幼稚園（バザー）⑨切り絵⑩スタンプラリー⑪東野会場



⑦



⑤



⑧



⑥



⑪



⑩



⑨

10月29・30日の2日間、第3回大崎上島町文化祭が開催されました。各会場では、絵画、書、陶芸など芸術作品のほか、児童・生徒の作品や高齢者のサロンなどで制作された作品が展示されました。大望月邸ではお茶席が設けられ、大崎上島文化センターのホール神峰では、歌や演奏、舞踊、銭太鼓、太極拳ほか多彩なステージに大きな拍手が贈られました。また、食品や手作りの小物などの出店もあり、子どもから大人まで集いにぎわいました。

演じる人、つくる人、盛り上げる人、見る人、共に楽しんだ。

被爆60周年

いま、静かに平和を呼びかけたい たんぽぽ会

今年の文化祭に、たんぽぽ会は、世界的な詩人坂村真民さんの作品の中から、原爆の詩を集めて展示しました。真民さん自筆の額のほか、同会代表の中本柑風さんが筆写した鎮魂の詩など。坂村さんから中本さんに送られた葉書や手紙なども紹介されました。お二人の交友は古く、中本さんは坂村さんを生涯の師と仰いでいます。

「今年是被爆60周年。もはや直接に記憶している者は少なくになりました。社会全体で被爆の記憶はだんだん風化していくようです。声高に言わず押し付けではなく、平和の



大切さを伝えられないかと考えました。原爆や戦争で起こったことを、若い人たちに知ってもらいたい、そこに何かを感じてもらいたい。すでに知っている人たちには思いを新たにしてほしい。そんな思いで、このたび坂村先生の原爆詩の展示を企画しました。それが、私たち戦争を経験した者のつとめであるように思えるのです」と中本さん。

いつぺん来てみたいと思うとつたんよ。

広島市の原爆語り部宇根利枝さんと福田安次さんが、大崎上島町文化祭会場に訪れました。たんぽぽ会の案内に応じたものです。宇根さんは、広島市内120カ所に及ぶ原爆慰霊碑にみずから汲んだ清水を献じ続けて50年。宇根さんに聞きました。

「大崎上島はええとこじゃと藤解詮雄さん（大崎上島出身、広島市在住）からしよつ



左から藤解詮雄さん、中本柑風さん、宇根利枝さん、福田安次さん

ちゅう聞かされていました。このたび、ようやく念願が叶って、藤解さんに連れられて福田さんと一緒にやってきました。お散歩クルーズを利用したんです。広島港（宇品）を出てこちらに近づくほど、だんだんと島が大きくなっていくんですね。よく晴れて、お山（神峰山）からの眺めもすばらしく、きょうは最高じゃね。」

どうしても忘れられないこと

「私は、比治山を挟んだところの勤め先の保育所で被爆しました。怪我をせずにすみました。行方不明の子どもを探して歩き回っているうち、生き地獄を見ました。焼けただれた人たちが続々と逃れてきて、口々に水くれ、水くれとせがむのですが、全市内の水には毒が入っていると知られてあげることができません。ばたばたと亡くなって……。あのときのことを、何年たっても忘れることができません。

私は山歩きが好きで、よく山を歩いていました。あるとき山の清水のおいしさに感じ入り、こんなおいしい水をあなたの方たちに差し上げたいと思ったのです。昭和30年だったかしら、それが慰霊碑に水をお供えしはじめるきっかけになりました。

それからのことです。再びあんなことが起こらないように、みんながすっかり忘れてしまわないように、平和公園で修学旅行生の皆さんなどに、私の体験した原爆のお話をするようになりました。」

●宇根さんのことを書いた本
※情報プラザ・エルで借りられます。



●被爆エノキ2世が大崎中学校に

福田安次さんは、被爆後に生き延びたエノキが枯死した時、まわりの実生を大切に育てて、全国の平和学習に熱心な学校に贈り届ける活動を続けてきました。そこには、木が育つように、平和への心も育ってほしい、育ててほしいという願いが込められています。そのうちの1本が、藤解さんの仲立ちにより、大崎中学校の校庭に植えられています。



【エノキ】ニレ科、花期は春、落葉高木。冬の間に葉を落とし、春の芽吹きに備えます。

大崎上島町教育フェスティバルを終えて

11月3日、大崎上島文化センターで、大崎上島町教育フェスティバルが開催されました。ホール神峰では第一部公立幼稚園から高等学校までの発表、第二部ひろしま音読の会の藤本佳子さんの講演と会の皆さんの朗読、第三部中学生による「とらい・やる21」の発表、またホワイエでは中高生の合同作品展がありました。この催しのねらいや成果などについて、教育委員会の取金秀子教育指導監に聞きました。



教育委員会は、①地域公開
②交流 ③読書推進の3点を
ねらいとして大崎上島町教育
フェスティバルを開催しまし
た。当日は多くの方にご来場
いただきました。

発表の部では、各校での特
色ある取り組みを、地域の特
方々に知っていただきました。
幼稚園児や小学生は歌を歌つ
たり、琴やリコーダーを演奏
したり、群読や呼びかけをし
たり教科の学習の成果を存分
に発揮しました。中学生の「と
らい・やる21」では、地域に
伝わる伝統芸能やそれらを部
分的にアレンジした学校独自
の創作曲を和楽器や洋楽器で
演奏しました。高校生は、選
択教科で制作、練習してきた
ものを発表しました。

ステージの上で照明を浴び、
発表する子どもたちはとても
立派で大きく見えたことで
しょう。実は子どもたちの胸
は高鳴り緊張しつつ放しだっ
たのです。

わが町の子どもたちは、他
校の発表を見たり聴いたりす
る機会が少なく、この会でよ
い刺激を受け、これからの活
動に取り入れられる内容が
多々ありました。このような
経験によって、自信が付き、

自己を見つめ自己変革ができ
ます。さらに、町の中で声を
かけてもらうと地域の輪も拡
がり、地域を愛する心も生ま
れてくるように思います。

講演会では、「音読を楽し
む」という演題で、朗読も交
えながらの話に来場者は聞き
入っていました。ことば遊び
では、実際に会場の皆さんが
声に出して楽しむ雰囲気も味
わいました。「子どもの感性
を磨くために本に親しむこと
の大切さを教えられた」「ゆっ
くり、言葉の意味を十分理解
して読んでいくのが大切だと
思った」「読み方や声の出し
方に感動した。」「孫ができた
ら読み聞かせをしたい」等読
書に関しての前向きなご意見
を伺うことができました。

ホワイエでの合同作品展で
は、中・高校生の作品が展示
され、幅広い年齢層の方々に
鑑賞していただきました。

環境の整った会場で、ほど
よい緊張感と十分な達成感
を持ち、発表後は清々しい表情
で輝いていた子どもたち。来
年度も、大崎上島町内の学校
の文化を地域に幅広く発信し、
地域の方々に支えられた子ど
もたちが光輝く姿を、お目に
かけたいと思います。

■ 大崎上島町第1次長期総合計画より

まちづくりの基本的な計画の第4章「大崎上島流の元気産業を育てるまち」に続いて、今回は一人ひとりの人権が尊重され、互いを活かしかう場所や機会づくりなど、第5章「明るく温かい人と地域を支えるまち」について、施策の方向や取り組みを紹介します。

明るく、温かい人と地域を支えるまち

1. 人を尊ぶ地域づくり

すべての人の人権・権利が守られるように、人権政策を全行政分野の連携・協力のもとに総合的に推進します。互いを認め合い、その個性と能力を発揮して社会活動に参画し、責任を分かち合える豊かな地域をめざします。人権に関する教育と啓発活動を積極的に推進し、町民が互いに人権を尊重する明るい地域づくりに努めます。

◆人権教育・啓発の推進

◆男女共同参画社会の形成に向けた啓発

2. コミュニティ活動

互いに信頼と連帯のあるコミュニティの形成に向けて、活動の場の提供など主体的で多様な活動を支援し、町民の



大崎上島ウォークラリー2005

◆交流活動の推進

◆まちづくりに地域の人材を活かすための仕組みづくり

3. 人づくりと交流活動

◆コミュニティづくりの推進

◆活動と円滑で効果的な連帯をめざします。

大崎上島文化センター
ホール 神峰の礎し

チケット販売場所 大崎上島文化センター（土日は情報プラザ・エルで販売）、東野公民館、木江公民館
問大崎上島文化センターイベント実行委員会事務局 ☎4-3055

話題の映画でお楽しみを

ドリームシアター2デイズ

新作 蝉しぐれ
準新作 マダガスカル
名作 1リットルの涙

12月17日(土)・18日(日) 開場は30分前

17日(土) 10:00...1リットルの涙
12:30...蝉しぐれ
15:30...蝉しぐれ※
18:30...蝉しぐれ※
※黒土三男監督の舞台挨拶と楽しいお話あり

18日(日) 10:00...マダガスカル
13:00...1リットルの涙
16:00...マダガスカル
18:30...1リットルの涙

- なつかしの映画など様々なジャンルの映画ポスター展を開催します。18日夕方より、先着順にプレゼント。(事務局指定のポスター)
- 蝉しぐれグッズの販売も



料金 ※前売り券の販売は12月16日まで

新作：蝉しぐれ
大人：1,200円(当日1,700円) 子ども：700円(当日1,200円)
準新作・名作：マダガスカルまたは1リットルの涙
大人：1,000円(当日1,500円) 子ども：500円(当日1,000円)
セット券(蝉しぐれ+1リットルの涙またはマダガスカル)
大人：2,000円(当日3,000円) 子ども：1,000円(当日1,500円)
フリーパス(期間中、どれでも何度でも。ただし本人限り)
大人：3,000円 子ども：1,500円
申し込みによりラミネートチケットを発行します。返品・名義変更は不可。(前売りのみ)

いいで、また会えたね。

大崎ふれあい農園祭

11月23日、大崎ふれあい農園祭が開催されました。主催は心身障害者共同作業所大崎ふれあい農園。会場（同作業所「のぞみの家」）では、オープン前から、たくさんの方の来場者でにぎわいました。今年も、さをり織りやリース作りの体験講習会、トウガン（冬瓜）の重さ



ウガン（冬瓜）の重さ当て大会など。ちびっこ広場では輪投げやすくも投げに子どもたちが歓声を上げました。地元中高生もボランティアスタッフとして参加、農園の利用者は、この日をわくわくしながら迎えました。「利用者」と地域の皆さんとの交流を」と始まったこの催しは今年で6回目。今では、地域の楽しい催しとしてすっかり定着しています。

障害者週間 12月3日～9日

12月3日は国際障害者デー

障害者基本法 第7条 国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるため、障害者週間を設ける。

空も心も晴れ晴れ



生きているって、いいときもそうでないときもあります。支え合い、ときにはぶつかり合って、思いを伝え合い、話し合いを重ねながら、だんだん暮らしやすくなっています。

わかばの会の仲間たち



「次はどこへ行く？」
吉田卓也さん（左前）

うれしかったこと

吉田卓也さんは昭和48年生まれ。体幹機能障害と知的障害があります。起きている間は車イスでの生活です。乳幼児期はほとんど家の中で過ごしました。三原養護学校へ入学し高等部卒業まで大崎分級へ。小学生の時、東野小学校から呼びかけがあり児童たちと交流することになりました。養護学校から東野小学校へ通う毎日をはじめ、同年齢の子どもたちのなかで過ごす

自分の力をつける

わかばの会は、障害の特性は違っても一つになって「地域で、自分らしく、安心して暮らせること」を願って活動する障害のある人と家族の集まりです。

11月12・13日、第54回全日本手をつなぐ育成会全国大会（本人大会）が広島市で開催され、わかばの会からも23人が参加しました。今年のスローガンは、「ヒロシマ発信」共に支え合う地域づくり」「みんなで話し合える社会」とりわけ、本人の願いを中心にすえて「地域で自立した生活」をどう展開していくのかに重点が置かれました。会場では、知的障害のある人本人が発表する姿が多く見られ、元氣をもらいました。

人権の視点

『人権』について 32 考える

長野県・諏訪市立諏訪中学校
三年 堀内 陽介さん

「人権」とか「差別」「障害」などの言葉に触れると、いつも僕の頭に浮かんでくる人物がいる。その人物とは、僕にとって絶対に縁の切れない人だ。四歳違いの兄である。

兄は、生まれてすぐに、低血糖症という、やっかいな病気にかかって、生死の境をさまよい、やっと取りとめてもらった命を持っている人だ。

しかし、命は取りとめてもらえたものの、残念ながら体のいろいろな部分に後遺障害が残ってしまった。視力の弱さ、手の麻痺、知能までも…。

そんな兄も、今春から晴れて社会人になった。就職においては、障害のない人でさえも苦勞する世の中なので、兄が就職するのはとても大変だったようだ。いろいろな所で何回も実習させてもらったが、最後は決まって「性格は良いのですが、仕事が遅くて…」と言われ、その事実を兄にどう伝えたらよいか悩む父の姿、また、自分が元気に産めず障害を負わせてしまったと思っている母の悔やし涙を何度見たことか。それでも

あきらめずに就職活動を続け、やっと理解を示してくれる職場に出会うことができた。

兄が初給料をもらった日、兄は以前からの公約通り、自分の給料で僕たち家族に昼食をごちそうしてくれた。ファミリーレストランのハンバーグ定食だったけれど、とてもおいしかった。父や母は嬉しすぎて味どころではなかったらしい。レジで自分の財布からお金を取り出す兄は、とても誇らしげで、自信に満ちていた。何をやっても僕より下手で、正直、他の家の兄弟のように「教えてくれる」なんてことは何一つない兄が、給料をもらえたことは、僕にとっても信じられない出来事だし、父や母は夢のようだったと思う。

こんな兄を持つ僕なので、人間は一人一人がとても大切で、かけがえのないことは誰よりも知っているつもりだ。この世に生まれた以上、必要のない存在なんてないと思う。先ほど、兄が教えてくれることなんて一つもないと書いた。確かに、勉強やスポーツ



を教えてもらうことはなかったし、これからのないと思うけれど、もしかすると、もっと大切なことを教えてもらっているのかもしれない。それは、「あきらめない」ことだったり、「一生懸命さ」だったり、「素直さ」「純粋さ」だったり。障害を持つ兄がいることで、僕は今までにたくさん障害者に触れる機会があった。養護学校にも何回か行ったことがある。風邪をひいたときに診てもらう病院も、下諏訪にある信濃医療福祉センターとあって、障害を持った子が大勢 通院してくるところだ。その病院の待合室で順番を

待っていると、同じくらいの年の子が車イスに乗ったり、杖をついたりして通って行く。廊下を移動するだけでも、「頑張っている」姿を目にする。僕たちが、何も頑張る必要のない場面で、「頑張っている」のだ。えらいと思う。

兄は歩くのは平気だが、右手に麻痺があるので、洋服のボタンをとめるにも「頑張らなければ」できない。僕が数秒でできるボタンかけが、数分かかるのだ。とにかく、どこか体が不自由な人は、何気ない日常の動作一つでさえ、「頑張る」必要があるのだ。もっと重い障害を持っている人は、食べること、飲むことなども大変な場合がある。そんな人たちは、みんな「精一

杯頑張って」生きているのだと思う。

そのように精一杯生きている人たちをバカにしたり、見下したり、差別したりする権利なんて誰にあるのだろうか。もしも、そんなふう障害者の人権を侵害する人間がいるとするならば、その人自身が心に障害を持っているのだと思う。

こんなふうには偉そうに言っている僕だが、残念ながら、心の障害者が多いこの世の中で、まだ自分の兄のことを、堂々と友達に紹介できずにいたり、「障害者をバカにするな!」と、大きな声で言えなかったりしている。兄がバカにされるのが、とても怖かったり、自分までバカにされるんじゃないかと不安だったりしてしまふ。僕は、そんな僕自身弱い心を一日も早く克服したいと思っている。でもその前に、克服する必要もなく、普通に「おれのお兄ちゃん障害があるんだ」「へえ、だから?」という会話ができればいいような世の中になってほしいと願っている。

※第24回全国中学生人権作文コンテスト 社団法人日本新聞協会会長賞 受賞作品



広島商船高等専門学校

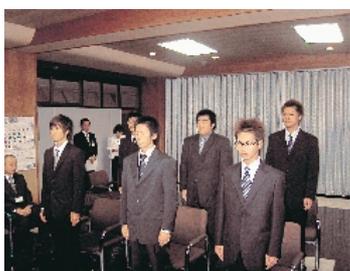
http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/

海事システム工学専攻入学式

広島商船高専では、10月4日(火)に本年度設置された専攻科「海事システム工学専攻」の入学式を挙行政した。海事システム工学専攻は、「さらに高いレベルの海技士免状取得と、それに関連した海事産業に基盤をおく輸送や船舶などの巨大プラントの運航・管理・保全を領域とした高度な開発能力と創造力を備えた人材を育成する」という趣旨のもと設置されたものである。

同高専の専攻科は、4月入学の「産業システム工学専攻」(定員8名)と10月入学の「海事システム工学専攻」(定員4名)の2専攻全てにおいて入学生を受け入れた。

6名の入学生は、同専攻科第1期生として決意も新たな入学式となった。



希望に燃える専攻科第1期生

海事関連産業が直面する諸問題についての船上交流会

9月20日(火)、地元産業の柱である海事関連業界関係者を対象として「海事関連産業が直面する諸問題についての船上交流会」を開催した。船上では、今吉汽船(株)の今吉代表取締役による講演「内航船主におけるISM対策他」、共和産業海運(株)の森本専務取締役による講演「内航タンカーの近代化と航海支援システムについて」が行われ、寄港地の今治造船(株)西条工場(愛媛県西条市)では、造船工場の視察が実施された。



船上交流会参加者



大崎海星高校

http://www.osakikaisei-h.hiroshima-c.ed.jp/

教育講演会「島から羽ばたく人づくり“翔びだせ大崎海星”」

11月13日(日)、大崎上島文化センターにおいて、タレントの西田篤史さんを講師に「中学・高校時代に何をすべきか ~私の体験を通して~」という演題で教育講演会を行いました。当日は250名を越える参加者が集まり、盛大に開催されました。

その中で、西田さんは中高生に勧めることとして「実際に触ってみることを挙げて、今にしかできないこと、自然に囲まれている島でしかできないことをしっかりとやってもらいたいと語り掛けました。



パネルディスカッション「島の高校に求めるもの」

同窓生や学校関係者に西田さんをパネラーに加えたパネルディスカッションでは、島の高校に求めるものとして熱い議論が交わされました。少子化が進み、さらに島外の高校に進学する生徒も増え、地元中学からの入学生徒が50%を下回っている現状を回復していくことが求められています。議論の中では、造船科の再建や、島であるという環境を活かしたボート部の立ち上げなど、具体的な内容も出てきました。

大崎海星高校では、教職員一同、危機感を持ち、今後の学校の存続、さらには発展に向けて努めていきます。



※各校から寄せられた原稿と写真を掲載しています

- ☆1リットルの涙 木藤 亜也
- ☆僕の妻はエイリアン 泉 流星
- ☆ひとまず走れ! 蒔田 陽平
- ☆疾風ガール 誉田 哲也
- ☆雪花 上・下 チン スワン
- ☆病は気からの免疫学 安保 徹
- ☆ももこタイムス さくらももこ
- ☆アカシア 辻 仁成
- ☆女性 不知 火京介



新刊本

紙芝居「おばけになったサンタクロース」他
ひまわり会
絵本のよみかたり
12/10(土) 10時30分
絵本「じゃーん」

12月4日~1月7日の休館日

日	月	火	水	木	金	土
12/4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1/1	2	3	4	5	6	7

開館時間 10:00~18:00

情報プラザ・エール

マキハダブネは伝えつづける

鳥羽・海の博物館 館長 石原 義剛

大崎上島町明石の西卓男さんから鳥羽・海の博物館へ寄贈された「最後のマキハダブネ」は、いま、明石からほぼ4百キロ離れた伊勢湾口の海辺の地上で、第二の人生ならぬ船の余生を静かに送っています。

去る10月9日、はるばると西さん一行18人がマキハダブネ「正寶丸」に再会するため訪れてくれました。正寶丸の小さな船室で子たちを育てた奥さん、船中で育った子たちとその夫や妻、孫たち、親類船での思い出を語り伝えあう親と子と孫の姿がありました。



石原館長(左)と西卓男さん

なごやかな西さん家族一行でした。

この船で瀬戸内から玄界灘を越え山陰の海まで、40年間、波濤を越えて航海を繰り返した。港々に泊まりつづけた西さん夫婦には、わが家以上に思い出が詰まっているわけです。

帰り際、西さんはバスに乗りかかった皆にちよつと待ってくれといつて一人、マキハダブネの側へ戻っていきました。長い時間のあと帰って「船に酒を飲ましてきたわ」という西さんの目に涙がありました。息子さんは「安心しました」と、そつと私に言いました。

重い言葉です。海の博物館はこれから先、何十年も何百年もマキハダブネが日本の造船史にきざんだ大きな功績とともに、西さんと同じ思いを抱く明石の人々の暮らしの記憶を永く残していかなければなりません。

11月になって、マキハダブネに2人の訪問者がありました。

一人は瀬戸内海にあつた木造船を再現するため模型を作りつづけているという広島青年。会社勤めの合間に休みをとつて来ました。以前、明石に浮かんでいたマキハダブネを何度か見ていて、作ろうと思つたそうです。彼は終日、正寶丸にもぐりこんで寸法を取つて帰りました。「できるだけ正確に模型を作つておきたいから」わざわざ広島から本物を見に来たわけですから、青年は海辺の町に生まれ育ち、子どものころから船が大好きだったのです。

千葉県から船釘の研究者がやってきました。マキハダブネは別に「クギブネ」とも呼ばれています。西さんもマキハダとともに船釘を船に積み造船場に売つて回つていたのです。古くは沖浦にたくさんの鍛冶屋があり、優れた船釘を打つていたのです。その後は尾道、鞆ノ浦から仕入れて売られるようになります。訪れた

研究者はマキハダブネに感激したようです。この一隻の船が多くのことを教えてくれた。一本の釘が作られ、運ぶ人がいる。運ぶ人の深い人生がある。

これからもたくさんの方が、それぞれに目的をもってマキハダブネを訪ねてくれることでしょう。海の博物館はいつでも、マキハダブネを朽ちさせぬよう努力をつづけます。



正寶丸の前で



鳥羽・海の博物館

海の博物館は、「海民(かいみん)」と呼ばれる漁師さん・船乗り・そして海辺に住む人が海と親しく付き合ってきた歴史と現在、さらに未来を伝える『海と人間』の博物館です。日本建築学会賞をはじめ様々な賞を受けた展示館は大吉浦(おつぎうら)を見下ろす丘陵にとけこみ、志摩の風土の一部と化しています。4万点を超える実物資料を有し、そのうち重要文化財は6879点にのぼります。交通 鳥羽駅からバス、海の博物館下車。 問 ☎0599-32-6006

果樹共済金をお支払いしました

平成16年度産果樹共済に係る減収量等について、農林水産大臣の認定を受けたので下記のとおり共済金をお支払いしました。

大崎上島町分支払い金額等

災害収入共済方式

温州みかん……………13戸 4,669,416円

指定かんきつ……………1戸 110,201円

半相殺減収総合一般方式

指定かんきつ……………2戸 186,910円

※農家の皆さんには、不慮の災害に備えて、果樹共済に加入されることをお勧めします。

2005年交通事故発生状況

死亡事故「0」日数164日 平成17(2005)年10月末現在

	人身事故			物損事故	合計件数
	発生件数	死者	傷者		
大崎上島町	9【18】	1【0】	9【19】	66【64】	75【82】
木江署管内	14【24】	1【1】	14【29】	90【82】	104【106】

【 】は平成16(2004)年10月末の数字です。

減らそう犯罪

ワンポイントアドバイス

融資保証金詐欺に御用心!

島内でも被害発生!

おっ、「低金利でお金貸します。保証金5万円でもとまったお金がすぐにあなたのもとへ…」っか、いいなあ。今ピンチだし、金利も安いから借りてみるか。

ちょっと待って下さい。最近、融資をうたい文句に保証金をだまし取る詐欺が多発しています。ある日突然、「お金を貸します」との手紙や電話があなたのもとへやってきて、信用したあなたがお金を振り込んだら最後、それ以降の連絡が全くないなんてことも…信用のある大手サラ金会社の名前をかたった手口も発生しています。甘い言葉には決してだまされないで下さい。

岡木江警察署

☎ 2-0110

<http://www.police.pref.hiroshima.jp/ps/kinoe>



「絵を見ていきませんか？」と誘われて

【相談内容】

1ヶ月前、店頭で「絵を見ていきませんか？」と声をかけられ、気軽な気持ちで店内に入ったところ、1つ1つの絵について説明があり、「好きな絵はどれ？」と言われて選んだら、「お目が高い!」と購入を勧められた。「高額なので買えない」と断ったが、「あなただけ特別に80万円を70万円にするから」と何度も勧められた。

「帰らせてほしい」と言っても帰らせてもらえず、4時間も勧誘され続け、その場から逃げ出したいくて、購入の契約をしてしまった。クレジットの返済が困難なので解約したい。

【アドバイス】

この業者は、店舗での契約であっても任意にクーリング・オフ制度を設けていましたが、広島県生活センターが相談を受け付けた時点では、すでにクーリング・オフ期間は過ぎていました。クーリング・オフ期間を過ぎた場合でも、「帰りたい」と意思表示をしているにもかかわらず帰してもらえず、その結果契約した場合などは、消費者契約法により、契約の取消しを主張することができます。

相談者に、長時間勧誘の行為があったこと、「帰りたい」と言ったのに帰してもらえなかったことなど契約に至る経緯と取消しの意思を書面にして、販売会社とクレジット会社に送付するよう助言がされました。また、センターも斡旋し、業者と交渉しましたが相談者の申し立てと販売店の意見に食い違いがあり、相談者が一部違約金を支払うことで合意解約となりました。被害にあわないためには、不要なものはきっぱりと断ることが大切です。強引な勧誘により、自分の意思がハッキリしないまま契約してしまった場合は、できるだけ早く相談しましょう。



消費生活相談窓口

竹原市役所 1階消費生活相談室

☎ 0846-22-6965

火・木曜日 10:00~12:00

13:00~16:00

大崎上島町役場 総務課(本庁)

☎ 5-3111

奇数月の第1金曜日 10:00~12:00

13:00~15:00

むずかしいことは言わずに

自分らしく参加する

島を歩いてみれば

大崎荘介護予防教室では、音楽に合わせてボールを使った体操や座ったままでできるソーラン踊りを行っています。月に1回、木江公民館講堂で9月から来年1月まで計5回。毎回、会場いっぱいの参加者が一緒になって、楽しく体を動かしたり、笑い声が上がったり。「ここに来たら他地域の人とも交流できる、出かけてみようかなと外出のきっかけになるといいと思います。楽しかったよ、次はいつ?という声をきくと、私たちスタッフもうれしいです」とボール体操インストラクターの藤原知恵子さん。



オリジナルボール体操と座ソーラン

11月8日から29日まで、高齢者の地域サロン「よってみんなさい屋」(大串)で、恒例のギャラリーが開催されました。「この日に向けて、がんばって作品を完成させ、出展するときの晴れ晴れとした笑顔がとてもすてきです。どなたでも自分らしくギャラリーに参加し、みんなで楽しめる空間づくりをめざしています」と主催のレッドレディース。来場者には、おいしいお茶でおもてなしを。18日には呉大学から、22日には明石地区から「集いの家」の皆さんが見学に見えました。



第4回よってみんなさい屋ギャラリー

11月19日、東野文化センターで、大崎上島町ワークショップが開催されました。この催しは、地域リーダーを育成しようと広島県町村会が県内全域に呼びかけて参加者を募ったものです。グループのテーマごとに大崎上島のよいところと課題とを見つけ出し、よいところを活かしつつ課題を解決していくには、どうすればよいかを考えていきます。第2回目の今回は、外に出て島内を巡ってみました。いくつもの目で見れば、思いがけない発見もありました。



第2回地域づくりワークショップ

1年でこんなに大きくなりました

名前は皇帝ダリア。「一昨年、名古屋に住む娘が送ってくれました。春に新芽をご近所におすそ分けしたら、4・5軒の人から咲いたよとうれしい声が聞こえてきます」花づくりが大好きという宮原サカエさん(大串区)。育ててみたい人には来春分けてくださるそうです。原産地：メキシコ、キク科 和名：木立(こだち)ダリア



英語に
チャレンジ



カナダの学校のクリスマスコンサート

文化祭

《English》

On Osakikamijima, there are many culture festivals during November. I have attended some with my husband, Cory, and we had a great time. We especially enjoyed the choral singing and the food.

Canada does not have anything exactly the same as Japan's culture festivals but we do have some similar events. Music concerts are given two or three times a year and many schools put on plays, too. Many schools have science fairs or open houses when parents can view their children's work. Usually, these events are held on weekday evenings and at various times throughout the year, for example, a Christmas Concert.

I think I will miss the culture festivals after we return to Canada.!

Megan

《日本語》

大崎上島では、11月中に多くの文化祭があります。私は夫コーリーと一緒にいくつかに参加し、素晴らしい時間を過ごしました。特に合唱と食べ物を楽しみました。

カナダには日本の文化祭とまったく同じものはありません。しかし、いくらか似たようなイベントはあります。音楽コンサートは1年に2・3回催されますし、多くの学校も演劇を上演します。多くの学校は親が子ども達の学習を見ることができるよう、科学フェアやオープンスクールを開催します。通常、これらのイベントは平日の夕方や、例えば、クリスマスコンサートのように1年を通して様々なときに、開催されます。

私たちがカナダに戻った後、私は文化祭がないことを寂しく思うことでしょう！

メーガン

レスリングで全国第5位



第60回国民体育大会

岩井一師さん（広島商船高等専門学校講師）が、岡山県で開催された第60回国民体育大会秋季大会で、レスリング競技成年男子グレコローマンスタイル84kg級の第5位に入賞しました。

ひとつになって全国第4位



第54回青年大会

11月号でご紹介した大崎上島町体育協会軟式野球部が、11月11日から東京都で開催された「第54回青年大会」で第4位の成績をおさめました。島の若者たち、なかなかやります。

ヤマトナデシコも枯葉も参加



交通安全親善大会

11月13日、3町交通安全親善ビーチボールバレー大会が開催されました。大崎上島・下島から50チーム、257人が参加。今年の優勝はNaiades C。主催は木江地区交通安全協会、3町交通安全対策連絡協議会、木江警察署。※ヤマトナデシコ、枯葉もチーム名。



県立安芸津病院 ☎0846(45)0055

くすりのはなし (インフルエンザ編)

朝晩めっきり寒くなりましたが、風邪などひいておられないでしょうか？布団から出るのがつらいこの時期、毎年話題になるのがインフルエンザの流行です。ちなみに一昨年は約923万人が感染したと推計されています。

今回はインフルエンザの「くすり」についてお話したいと思います。まずみなさんが思い浮かべるのがワクチン接種だと思いますが、これはインフルエンザにかからないようにするためのもので、健康保険の適用はありません（つまり実費扱い）。しかし抵抗力の弱い高齢者などには、その予防効果や重症になりにくいなどの理由から国、自治体とも接種をすすめているようです。健康な人でもいざかかると高熱、関節痛などつらい症状が出ますのでなるべく予防接種をおすすめします。

さて、いざインフルエンザにかかってしまったら…ですが、現在日本では「シンメトレル・内服」、「タミフル・内服」、「リレンザ・吸入」という3種類の薬がつかわれています。「シンメトレル」はインフルエンザA型のみ有効、「タミフル」・「リレンザ」はイン

フルエンザA型B型の両方に有効とされています。なおいずれの薬も症状が出て2日以内に飲み始めることとされています。

「あっ調子悪いかな？」と感じたら早めの受診をおすすめします。

県立安芸津病院 薬剤科 薬剤師 高橋 強

献血にご協力ください ♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥

12月12日(月)	12:00~16:00	役場木江支所
13日(火)	9:00~12:00	東野保健福祉センター
1月16日(月)	13:00~16:00	西野公民館
17日(火)	9:00~12:00	大崎産業会館
	13:00~16:00	ク

閩保健衛生課
☎ 2-0303



公衛協のごみダイエット作戦



大崎上島町公衆衛生協議会が、大崎上島町文化祭で「祭りのごみダイエット作戦」を実施しました。場内の出店者にごみの分別を呼びかけて回ったり、持ち寄られたごみの分別を行ったり。2日間を通して、燃えるもの46kg、塩化ビニール・発泡スチロール等6.5kg、空き缶3kgが集まりました。このうち、空き缶は資源ごみとしてリサイクルされます。

一生涯、宗族。



谷本しなちゃん (天五区)

犬はつないで飼いましょう。
散歩や運動のときも引き綱を。
フンの処理は飼い主が責任をもって行ってください。

東広島地域保健所の相談会

専門医による精神保健福祉相談

日時 12/16(金) 13:30~16:30
場所 東広島地域事務所

専門医によるひきこもり相談

日時 2006年2/2(木) 13:30~16:30
場所 東広島地域事務所

※前日の午前中までに予約が必要です。
閩保健課保健対策係

☎082-422-6911 内線2412

栄養士・保健師によるアレルギー疾患相談

日時 12/13(火) 13:30~15:30
場所 東広島地域保健所

日時 2006年1/17(火) 13:30~15:30
場所 竹原分庁舎

※要予約

閩保健課健康増進係

☎082-422-6911 内線2417

※町でも保健師、栄養士が随時相談を受け付けています。☎2-0330



こんにちは、保健師です

お問い合わせは、保健衛生課 保健師（木江支所内）
☎2-0330（直通）

大崎上島町健康増進計画づくり経過報告 その1

「元気なまちづくりについて考えませんか」。町（保健衛生課）の呼びかけに集まった町民の皆さんと保健師・栄養士が話し合いを重ねています。健康な姿のイメージをみんなで共有し、そのために行政・地域・私に何が必要なのか、どうすべきかを考えていきます。その成果は、町の健康増進計画づくりに反映されます。平成15年と16年には高齢期、今年度は成人期の健康づくりがテーマ。今回から3回にわたり、高齢期の話し合いを振り返ってみます。

「健康」とは、何でしょう？

私たちは考えました。

「病気がないという状態はもちろん。病気や障害があっても、治療、介護や介助を受けていても、その人らしくいきいきと暮らしていることは健康としよう」

私たちは、高齢期の状態を「車椅子に乗れば自分で移動できる」とイメージし、その人が健康に暮らせるためには…と考えていきました。

「えっ、年をとったら車椅子に乗るような状態になるの？」と思われる人もいるでしょう。ここで、質問。

質問1 あなたは、5年後、10年後、20年後に今と同じ健康状態が保てると思いますか？

質問2 医師や保健師などの言うことを聞いていれば、絶対に健康でいられるのでしょうか？

私の答えは、こうです。

1の答え 健康状態を保ちたいのはやまやまだけど、今と同じとはいかないだろうな。通院はしているかもしれない。普段の生活が変わっていなければいいな、と希望的観測をしています。

2の答え 残念ながら保証はできません。気をつけたほうが確率的には健康でいられるといえますが。未来は不確実です。こうすれば確実、これを食べれば絶対大丈夫。これを飲めばどんな病気も治る。それがあれば何の心配もない、私も知りたいです。

健康状態は歳月を経て変化するし、人によっても違いがあります。このことを認め、どのような状態になったとしても、自分らしくいきいきと暮らしたいと願います。そこで、私たちは「車椅子に乗って移動する人の健康で幸せな暮らしとは何だろう。」と考えていきました。これが実現できれば、車椅子に乗らない人の健康で幸せな暮らしも実現できるはずだからです。

次回は、話し合いから出てきた「めざしたい大崎上島町民の高齢期の健康な姿」をご紹介します。

保健師 田原 香利

和の食材をイタリアンにアレンジ

●大根のチーズステーキ (バルサミコ風味)

エネルギー……… 143kcal
たん白質……… 5.5g
カリウム……… 330mg
塩分……… 0.9g



管理栄養士の 
ヘルシークッキング

冬場の大根は甘みが増しておいしく、蒸し物、煮物、和え物にとレパートリーも豊富です。でんぷん分解酵素ジアスターゼなどの消化酵素が含まれているので他の食品の消化を助け、食欲を増進する効力があります。

今回はその大根とバルサミコ酢を組み合わせってみました。バルサミコ酢はイタリア特産のブドウが原料の果実酢の一種です。イタリア語で「芳香がある」という意味で、パスタやサラダなどのソースの香り付けやかくし味に使用される調味料。お肉の代わりに大根に焼き目をつけ、チーズとバルサミコ酢を使い、ちょっとイタリアン風に仕上げってみました。

材 料	分量(4人分)	作 り 方
大根	400g	①大根は3cmくらいの厚さの輪切りにして皮をむき、表面に十文字の隠し包丁を入れる。 ②フライパンを熱しオリーブ油を入れ、ニンニクのスライスを入れ香り出し、取り出す。 ③①の大根を並べ軽く塩・こしょうをして蓋をし、弱火で両面を焼く。両面こんがりとし、色づいてきたら白ワインを加え、弱火で蒸し焼きにする。 ④竹串を刺して、すーっと通るくらいに柔らかくなったたらバルサミコ酢を加え、両面とも照りよく焼く。 ⑤火を止め、とろけるチーズをのせ、蓋をして余熱でチーズをとろけさせる。 ⑥器に盛り、付け合せに水菜とトマトを添える。
塩	小さじ1/5	
こしょう	少々	
ニンニク	1かけ	
オリーブ油	大さじ1強	
白ワイン	50cc	
バルサミコ酢	60cc	④竹串を刺して、すーっと通るくらいに柔らかくなったたらバルサミコ酢を加え、両面とも照りよく焼く。
とろけるチーズ	4枚	
<付け合せ>		
トマト	100g	⑤火を止め、とろけるチーズをのせ、蓋をして余熱でチーズをとろけさせる。
水菜	20g	
		⑥器に盛り、付け合せに水菜とトマトを添える。

国民年金保険料控除証明書が必要です

国民年金保険料は、納付した金額の全額（家族分もみます）が年末調整や確定申告で所得税・町県民税の社会保険料控除の対象となります。

所得税法の一部が改正され、平成17年分の所得の申告から、1年間に納付した国民年金保険料の額を証明する書類を添付することが義務付けられました。

このため、社会保険庁から1年間に納付した国民年金保険料の額を証明した「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」というハガキが11月上旬に郵送されました。年末調整や確定申告の手続きの際には、この証明書や領収書が必要となりますので、大切に保管してください。

このことについての問い合わせは、社会保険庁から送付される「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」に記載されているお問い合わせ先をご覧ください。



20歳を祝う、成人式のご案内

対象者 昭和60（1985）年4月2日から昭和61（1986）年4月1日生まれの、町内の小中学校卒業生および大崎上島町に住居登録している方

とき・ところ 平成18（2006）年1月4日（水）10時開式・大崎上島文化センター ホール神峰

※対象者には、ご案内を差し上げます。

町教育委員会 ☎4-3055

宅配型「食の知っ得講座」を始めました

毎日の食生活の中で、「この食べものは安全なの?」とか、「この食品の表示は信用できるかしら?」といった疑問にお答えするため、「食の知っ得講座」を実施します。この講座は、中国四国農政局管内の各農政事務所・地域課が、住民の皆さんのご希望の日時・場所に、職員などを無料で派遣するものです。講座の実施内容は、次のホームページから。広島農政事務所 <http://www.chushi.maff.go.jp/nousei/hiroshima/index.htm>
 町中国四国農政局広島農政事務所 消費・安全部 消費生活課 担当：稲田、上森 ☎082-281-2111(代) 内線220、223

相続登記に関する説明会

とき・ところ 12月14日（水）13時～15時・広島法務局竹原支局1階会議室
 町広島法務局竹原支局 ☎0846-22-2367

姉妹町中頓別町への旅

北海道中頓別町とは、平成2（1990）年に姉妹町縁組を行い、青少年の交流、町民の交流、特産品の交流等幅広く交流を重ねています。本年度も、「厳寒まつり（しばれまつり）」へ参加など同町の町民との交流と札幌や小樽等への旅を実施します。

日程 平成18（2006）年1月27日（金）～1月30日（月）

募集人員 12人

個人負担 35,000円

参加の条件

- ①町民（20歳以上）の方で交流の趣旨を理解し、今後の生活文化の向上に役立てる意欲のある方
- ②健康に自信のある方
- ③これまでに一度も中頓別町民交流に参加していない方、及び今年度武蔵野市交流に参加していない方
- ④同一世帯から1人

募集期間 12月7日（水）～16日（金）まで

申込方法 所定の申込書を商工観光課（本庁）又は各支所地域振興課に提出してください。申込書は、商工観光課及び各支所地域振興課にあります。

募集の決定 申込者多数の場合は抽選。

主催 大崎上島町交流推進事業実行委員会

町商工観光課 ☎5-3120

工業統計にご協力を

製造事業所の皆さん、12月31日現在で平成17年工業統計調査が行われます。調査の実施に当たっては、本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確に記入してくださいようお願いします。

経済産業省・広島県・大崎上島町

町企画課（本庁） ☎5-3112

人権講演会

演題 「人生の贈り物」—支えあう地域社会をめざして
 講師 季平 博昭さん（僧侶・カウンセラー）

尾道市の法光寺副住職であり、同寺の心理相談室カウンセラー。個人面接によるカウンセリングや箱庭療法の勉強会を行うほか、各地で講演活動を行っています。尾道カウンセリング研究会副会長・（財）同和教育振興会理事他

とき・ところ 12月12日（月）13時30分～15時・東野文化センター大ホール

町住民課（本庁） ☎5-3113

人権週間 12月4日（日）～10日（土）

月	日	曜	行 事 ・ 場 所	予 防 接 種
12	4	日	公演「オペラってなんじゃ!」：大崎上島文化センター 14:00~ 当番医 升谷医院 ☎8-2015	三種混合Ⅰ期 初回② 12月5日(月)~12月10日(土)
	5	月	健康増進計画策定委員会：役場本庁 19:00~20:30	
	7	水	健康相談：東野保健福祉センター (受付) 10:00~11:00	
			健康栄養相談：木江会館 (受付) 13:30~14:30	
	8	木	育児相談：東野保健福祉センター (受付) 10:00~11:00	
	10	土		
	11	日	東野中学校音楽公演：大崎上島文化センター 13:15~	
			当番医 満岡医院 ☎2-0114	
	12	月	人権講演会：東野文化センター 13:30~	
	13	火	上島コスモス：木江保健福祉センター 9:30~13:00	
			健康相談：東原下集会所 (受付) 13:30~15:00	
	15	木	広島商船文化セミナー：東野文化センター 19:00~	
16	金			
17	土	つくしの会の読みかたり：木江公民館 14:00~		
		ドリームシアター2デイズ：大崎上島文化センター (~18日)		
18	日	当番医 射場医院 ☎5-3304		
21	水	断酒会：東野保健福祉センター 18:00~20:00		
23	金	イブイブコンサート：大崎上島文化センター 13:30~		
		当番医 伊藤医院 ☎8-2019		
24	土			
25	日	当番医 円山医院 ☎4-2062		
26	月	国民健康保険税第6期・固定資産税第3期納期限		
31	日	当番医 越智医院 ☎6-2110		
1	1	日	当番医 田村医院 ☎3-0311	三種混合Ⅰ期 初回③ 1月10日(火)~16日(月)
	2	月	当番医 岡本医院 ☎6-3391	
	3	火	当番医 寺元医院 ☎4-2093	
	4	水	成人式：大崎上島文化センター 10:00~	
	8	日	消防団出初式：中野小学校グラウンド	
			当番医 沖本クリニック ☎6-2314	
9	月	当番医 ときや内科 ☎3-0001		

高齢者インフルエンザ実施期間
12月24日まで
12月16日まで

初日の出を、かんのみねで

とき・ところ・内容 平成18(2006)年1月1日(日) 0:00~8:00 神峰山公園第2展望台周辺・お楽しみクイズ、抽選会、おみくじ(石鎚神社)
主催 初日の出実行委員会
関商工観光課 ☎5-3120

● 確かめよう 歩行者スピード 車間距離 ●
年末交通事故防止県民総ぐるみ運動

12月12日~21日

運動の重点 高齢者の交通事故防止
飲酒運転の追放

生まれ／わんぱくちゃん
 2月生まれのわんぱくちゃんに掲載を希望されるお子さんは、お気に入りの写真を企画課まで。(各支所地域振興課庶務係でもお預かりします) 氏名(ふりがな)、生年月日、住所(地区名)、保護者名、電話番号を明記してください。掲載要件は、来年2月に1歳の誕生日を迎える子。期限は1月6日。データでいただける場合は次のアドレスへ。
 taku@town.osakikamijima.hiroshima.jp
 企画課 ☎5-3112

第4回 ピアノリレーコンサート参加のお誘い

ホール神峰のステージでスタインウェイのピアノを弾いてみませんか。

1人1曲、8分以内。初心者も歓迎します。

とき 平成18(2006)年1月22日(日) 12:00~

ところ 大崎上島文化センターホール神峰

定員 75人(連弾、2台使用は1人とします)

申し込み方法 所定の申込用紙※に記入して、大崎上島文化センターへご持参ください。

※申込用紙は、大崎上島文化センターと東野・木江公民館に。(ファックス、郵送は不可)

締め切り 12月26日(月) 17:00 (ただし、定員に達し次第締め切ります)

問大崎上島文化センターイベント実行委員会 ☎4-3055



今年も、イブイブコンサート

若者から熟年まで、さまざまなジャンルで、町のミュージシャンたちが競演します。

とき・ところ 12月23日(金) 13:30~・大崎上島文化センター ホール神峰

入場無料、主催大崎上島町音楽協会



季語に親しむ

神峰俳句クラブ

菊人形平家一門華やかに
 土つきの大根並ぶ道の駅
 七五三記念写真に加はりぬ

川崎 雅子
 小池 町子
 松岡 修山

南風俳句会

岬端になだるる漆紅葉かな
 よもすがら屋根に木の実の落つる音
 裏木戸につのる木枯海へ落つ

戀田 和夫
 横本三四郎
 山田 梧桐

木江神潮俳句会

移りゆく刻は掴めず蔦紅葉
 時雨るるや更地となりし子の母校
 ついばみもなく山柿の熟したる

小池 華子
 小川 知女
 谷本 皇月

みゆき俳句クラブ

秋簾外せし空の広さかな
 抽斗の団栗の色褪せにけり
 巫女舞の鈴の如くに桐は実に

吉本 夏子
 梅谷 看雲
 長濱 菖枝

大崎荘俳句クラブ

くねくねと登る山道櫨紅葉
 重ね着てなほ肌に染む山気かな
 白菊や遺影の母に気品あり

川口多美子
 安本美保子
 稲本キヨミ

編集後記



水辺の大銀杏がみるみる色づいて、ひとひらひとひら落ちはじめ、やがて激しく散ってゆくさまの美しいこと▼今月のテーマは「思いを表す」。赤ん坊なら、ただ泣いて笑って。さあ皆さん、わかってくださいな。大人になれば、いささか複雑。語る、歌う、書く、描く、奏でる、踊る等々。様々な手段で自分を表わすことができます。そうして、また新しい発見があることも▼ 冴えわたる夜、よく見え、よく聞こえ、しなやかに響く心を持ってますよう星に願いを。

海と島の歴史資料館
 大望月邸ギャラリー
 水墨画展 12/4~1/9
 橋本 喜八さん
 (東野出身)

「身近な電気と電気製品について」
 講師 村岡 秀和
 (商船学科)
 12月15日(木) 19時~
 東野文化センター

広島商船文化セミナー